

## 総領事の活動報告(2012年9月)

平成 24 年 9 月 24 日

### ◆第35回 日本・米国南東部会 合同会議

9月13日から9月15日まで東京で米国南東部7州代表团及び日本側ビジネス関係者3百数十名が参加して第35回南東部会 日米合同会議が開催されました。(右側写真:帝国ホテルで開催された合同会議でのデッツナー・フロリダ州務長官の冒頭スピーチ風景)



■今会合で注目されたのは、

(1)米国南東部7州からハスラム・テネシー州知事、デール・ジョージア州知事、ブライアント・ミシシッピ州知事、パデュー・NC州知事、ヘーリーSC州知事の5知事及びアラバマ州商務長官、デッツナー・フロリダ州務長官のご参加があり、日本側歓迎レセプションの際、米倉弘昌日本側議長(日本経団連会長・住友化学会長)から、



5知事が一堂に会した画期的会議となったとの御発言がありました。この背景には、南東部各州での日系企業活動が活発で、地域経済への貢献が大きく、日本との経済・投資関係のさらなる緊密化への期待の高さが伺えました。また、日本側事務局(住友化学)関係者による周到的な事前準備があったものと思われます。

(左写真:米倉弘昌日本側議長スピーチ)

(2)同会議では、田中明彦JICA理事長から、対アフガン支援、ミャンマー民主化支援、国連ポストMDGs(特にアフリカ)などでの日米間の協力・連携を進めていとの注目発言があり、昼食会には、ルース在日米国大使がゲストとして招かれ、日米関係全般に関するスピーチを行い、昨年3.11後の日米関係のさらなる緊密化、日米同盟・安全保障、トモダチプロジェクトにより500名の日本人高校生を米国へ招待するとの発言がありました。

(3)午後会合では、日米パネリストが、米南東部州の投資環境の良さについて語り、米国人口の6割から8割を占める米東部の大市場に近く、恵まれたインフラ環境と北部地域と比較して相対的に低価格、住環境・教育環境が良いとの見方が述べられました。また、日本が米国のアジア進出のゲートウェイとしての価値を高めるためのビ



ジネス環境の向上に向けた措置を検討すべきとの日本側参加者からの声もありました。午後の会議では、サプライチェーンやインフラ強化についての議論もなされました。

(4)当方の来賓挨拶(←左側写真)では、3.11における米国からの支援への感謝と今年4月末の日米首脳会談で発

表された日本側イニシアティブであるキズナ・プロジェクトの中で、1千名の米国高校生が東北での地域交流などのため訪日したことや、今後、東北地方の高校生1千名等が米国各州を訪問予定であり、日米次世代の交流が推進されていること、フロリダをはじめとする南東部各州における日本との共同ビジネスの成功例が今後も着実に増加することへの期待を申し上げました。(右側写真:デ



ツツナー・フロリダ州務長官と本官及び妻)

◆日本側共同議長として御活躍された米倉弘昌住友化学会長は、東京会合のホスト



役として、13日から開始された全プログラムに御出席をされて、英語で終始ホスト役を勤められ、大活躍されました。また、日本側主催の配偶者プログラムや夕食会における大変に心温まるご配慮に対して、米側の全参加者から、大変に心に残る素晴らしい会議・プログラム運営ぶりであったとの賞賛の声がありました。

{左写真:米倉日本側議長及びボーベンダー米

側議長(右端)と本官・妻}

今回の当方の同会議出席に当たり、日本側事務局の高崎良久様、関係者の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

#### ◆姉妹都市・下呂市を訪問

9月17-18日の両日、フロリダ州ペンサコーラ市と姉妹都市である岐阜県下呂市を妻と共に訪問しました。下呂市の野村誠市長、中島市議会議長、長谷川教育長、市役所職員、下呂商工会・下呂温泉観光協会関係者、JETの英語教師(AET)、今年3月末にペンサコーラに派遣された地元中学生の代表の皆さんなどとお会いしたところ、当方の訪問を大変喜んで下さいました。

#### ◆野村市長との懇談の際、当方から今年3月末に実施した米国桜寄贈100周年事業のペン



サコーラ市での実施にあたり、下呂市民から桜苗木60本が寄付されたことへ心より御礼を申しあげ、野村市長からは、来年には下呂市青少年のペンサコーラ派遣が20周年を迎えるので、野村市長自らが5月連休中に同市を訪問したいとの御発言がありました。(左写真:左側からUWF 本田先生、ハイザー商工会議所会頭、野村市長、本官及び妻)

下呂市の中学生派遣事業は、竹下総理のふるさと創生基金を元に青少年の人材育成、特に海外交流による国際的視野を有する有為な若者の育成のために下呂市に合併された旧荻原町が1993年より実施している事業です。下呂市は、JETプログラムによる米国人英語教師(AET)の受け入れに大変積極的であり、市内の全小学校・中学校にAETが配置されているとのこと。また、同市は山に囲まれており、森林保全が極めて重要なこと、観光客誘致に力を入れていることをお伺いました。

18日午前、下呂市長との懇談と別に設けて頂いた教育委員会、歴代下呂中学生派遣団团长さん、派遣された生徒代表、下呂商工会、下呂温泉観光協会関係者が参加された懇談会にも出席しました。当方からは、ペンサコーラ市と下呂市の比較、フロリダ州の特徴など



について、パワーポイントでのプレゼンを行いました。当方と同日程で、日米国南東部会会合の終了後、当地を訪問されたグレーター・ペンサコーラ商工会議所会頭のジム・ハイザーさんからは、今後の姉妹都市交流の一環として、ペンサコーラ市のスキークラブ有志の訪問先として、下呂訪問も今後検討してみたいとの発言もありました。

同市で注目されている産業として健康畳があり、檜(ひのき)の間伐材を非常に薄くスライス加工して、洋風な畳ベッドなどを生産しており、東京での展示会へ出展して、注目されているとお聞きしました。午後には健康畳の製造所を訪問、また、アルプスの美味しい水を利用した飛騨の地酒で全国的に有名な天領酒造さんで試飲をさせていただきました。

当方の下呂訪問にあたり、日程調整などで大変に御世話になった下呂市役所の桂川国男総合政策課長・土川正文所長をはじめ、下呂市の皆様方に改めて感謝申し上げます。

### ■石見神楽の当地公演

9月20日から21日まで、島根県益田市の石見神楽保存会<三原董充(ただみつ)会長>の市民の皆様による当地公演が、国際交流基金の御支援により実現しました。20日夜、日



本にゆかりのある当地駐在の各国総領事夫妻、大学関係者、地方自治体関係者などのゲストを公邸にお招きして、大蛇(おろち)のプレビュー公演を頂いたところ、ゲストの皆様全員から、大変に素晴らしいと大喝采を頂きました。翌21日にはフロリダ国際大学及び森上美術館

で公演をして頂き、大変に好評を博しました。当地公演を実現するにあたり島根県芸術文化センターの木原義博・企画広報課長他関係者の皆様方の御尽力に感謝申し上げます。(了)

(在マイアミ日本総領事 川原英一)

